

腹膜透析患者における透析液注排液速度についての後ろ向き観察研究

・はじめに

私たちはより安全で確実な腹膜透析治療を患者さんにお届けするために、患者さんを対象にした臨床研究を行っています。今回ご説明させていただく研究は、標準的に行われている腹膜透析治療の結果を「観察」させていただくものです。透析液の注入や排液の様子、検査結果や身体所見をデータとして集めさせていただきます。

・対象

日本赤十字社医療センター腎臓内科において2010年4月1日から現在までに腹膜透析治療を受けられていらっしゃる患者様を対象に致します。対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

・研究内容

当科で外来診療や入院中に計測し診療録内に記録を行っている腹膜透析液の注液や排液に関わるデータを診療録より抽出し、診療録情報、血液データ、体液量、腹膜機能との関連について調査を行います。この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、日本赤十字社医療センター腎臓内科では個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、などの対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

・医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来研究成果は腹膜透析治療改善の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

・研究機関

日本赤十字社医療センター腎臓内科

連絡先

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 電話 03-3400-1311(代表)

担当者

中司峰生（なかつかみねお）